

平成21年度公共事業等事前評価調書（簡易型）

（土石流被害の防止による評価）

（区分） 国補 県単

事業名	復旧治山事業（通常地域）	事業箇所	上野原市 柵原	地区名	みょうじんさわ 明神沢	事業主体	山梨県
(1) 事業概要 ① 課題・背景 ・本箇所は、上野原市柵原地区を流れる一級河川鶴川の支流に位置し、山地災害危険地区に指定されている。 ・流域内は、連年の降雨等により山腹崩壊が発生し拡大を続けており、溪床内には不安定土砂が異常堆積している。 ② 整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 保全対象 人家 13戸 県道 500m 市道 250m 農道 400m 林道 100m 田畑 0.7ha 緊急度・危険度 11 ≧ 10点 ※ 被害軽減額 423 ≧ 340百万円 ※ □副次効果 <div style="text-align: right;">※：評価基準値</div>				(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない			
				①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当 ②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備 ③経済妥当性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> 費用便益費 便益(B) / 費用(C) = 5.57 > 1.0 ・便益(B) = 597百万円 ・費用(C) = 107百万円 ④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・堆積土砂の流出防止 土砂流出防止率 37% → 70% ⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効 ⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・施工中は廻排水を設置し水質汚濁防止及び水量確保を図る。 ・動植物の希少種の保護にも留意する。 ⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ・地元上野原市からの強い要望あり 総合評価 【貢献度ランク：a】 <input type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/>			
(2) 整備内容と整備量 ①整備内容 谷止工4基、山腹工0.06ha 護岸工L=120m ②整備期間 平成21年度～平成22年度 ③総事業費 109百万円（国費54百万円）（補助率1/2） ④全体計画 平成21年度 谷止工2基、護岸工L=60m 55百万円 山腹工0.03ha 平成22年度 谷止工2基、護岸工L=60m 54百万円 山腹工0.03ha ⑤既整備内容・期間・事業費 谷止工1基 昭和53年 8百万円 谷止工3基 昭和57年～59年 21百万円				【事業位置図等】 <div style="text-align: center;">省 略</div>			